

平成23年度指定管理運営業務評価票

| 施設名称：府立漕艇センター   |                            | 指定管理者：(財)マリンスポーツ財団  | 指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日   | 所管課：大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課  |   |  |                          |  |
|-----------------|----------------------------|---|---|--|---|--|--------------------------|--|
| 評価項目            | 評価基準(内容)                   | 自己評価 (指定管理者)  |   | 評価<br>S~C  | 施設管理者の評価 (所管課)  | 評価<br>S~C  | 評価委員会の指摘・提言              |  |
|                 |                            |   |   |  |   |  |                          |  |
| I 提案の履行状況に関する項目 | 平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策 | (1)施設の設置目的及び管理運営方針  | ①施設の設置目的に沿った運営<br>②提案した管理運営方針に沿った管理<br>③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取り組み   | ① 施設を誰でも気軽に利用できるように環境整備をおこなった。<br>② 漕艇競技会開催時の海上安全対策の協力(ライフジャケットの無償貸与、警戒艇の協力→6月18・19日高石市ドラゴンから本格的に水上バイクにて出れる体制を整えた)<br>③ AED取扱者の常勤(職員3名)。消防設備の積極的な整備→年1回点検、消防署の立入検査 | A   | ①シャワー室に扇風機の設置、夏季の熱中症対策の会議室開放、花壇プランターの設置等、施設環境の整備を実施。<br>②海上安全対策として漕艇競技会開催時にライフジャケットの無償貸与等、主催者に協力。<br>③スタッフは普通救命講習で、AEDの取扱い、応急処置等について受講済。 | A                        |  |
|                 |                            | (2)平等な利用を図るための具体的手法・効果  | ①公平なサービス提供、対応状況<br>②高齢者、障がい者等に対する配慮   | ① 苦情トラブル発生時は、近隣施設と連携し適切に対応した。<br>② 車いすの方がいつでも利用できるような環境づくり。障がい者の競技参加のサポートをおこなった。障がい者用トイレの環境整備。夏場の熱中症対策の為に第4会議室の開放を実施した。  | A   | 利用マナーに関するトラブルは、浜寺公園等近隣施設との連携し、看板を設置する等適切な対応を行った。<br>②車椅子の方の競技参加へのサポート、障がい者用トイレの整備等を実施。   | A                        |  |
|                 | (3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果    | ①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取り組み<br>②年間の広告・広報計画等の情報発信の取り組み<br>【指標】<br>・利用者数 | ① 漕艇競技主催者と協力し、11月5日・6日にソーラー人カボート試乗会、子供たちを対象にマリス海洋スクール、ジェットスポーツデモンストレーションを実施した。<br>② ホームページに競技予定表を掲示。  | A  | ①指定管理者公募時に提案のあったマリス海洋スクール、ジェットスポーツデモンストレーション等自主事業の実施。<br>②新規にホームページを開設し、競技予定表を掲載。                         | A  |                          |  |
|                 | (4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果   | ①提案のあったサービス向上策の取り組み<br>②自主事業の取り組み<br>③施設設備、機能の活用                    | ① 意見箱の設置。ニュースレターの配信。顔写真付スタッフ一覧表を掲示することにより責任のある利用者対応を行った。<br>② カヌー競技の誘致。ドラゴンボート大会開催時の協力小型船舶免許更新講習会の実施。市民参加の漕艇競技会実施の協力。<br>③ 施設内の清掃及び不用品の撤去、修理を行った。   | A  | ① 利用者意見箱の設置、ニュースレターの配信等の実施。<br>② カヌー競技の誘致、小型船舶免許更新講習会の実施。<br>③ 施設内の清掃及び不用品の撤去、修理等の実施。                     | A  | 利用者数の増加に向けて、さらなる努力を期待する。 |  |
|                 | (5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度   | ①施設設備の効果的な維持管理<br>②施設設備の安全管理<br>③緊急時の危機管理体制                         | ① 修繕費は、施設自体が古く年間予算60万円を上回る予定。<br>② 実施工程表に基づき 計画的に実施し、不具合箇所は修繕した。<br>自家用電気工作物保安管理業務<br>汚水処理施設維持管理<br>エレベーター点検<br>空調設備点検<br>消防設備点検<br>貯水槽清掃点検<br>受変電設備点検<br>日常清掃<br>定期清掃<br>警備業務<br>③ 非常時マニュアルを定め、夜間暴風警報発令時は、職員2名が出動し安全対策に努めた。<br>2ヶ月に1回浜寺地区施設5か所との連絡会議を実施し、情報の共有をはかった。 | A  | ① 基本修繕費は、年間計画の60万円を上回る予定。<br>② 各設備点検は施設管理の年間点検計画表に基づき実施。<br>③ 危機管理マニュアルを定め、夜間暴風警報発令時に、職員2名が出動する等安全対策に努めた。 | A  |                          |  |

| 評価項目  |                       | 評価基準(内容)   | 自己評価 (指定管理者)   | 評価<br>S~C | 施設管理者の評価 (所管課)  | 評価<br>S~C | 評価委員会の指摘・提言 |
|---|-----------------------|--|--|-----------|---|-----------|-------------|
| その他<br>管理に<br>際して必<br>要な事<br>項  | (6)収入確保策の実施           | ①広告収入等の収入確保策の取組み<br>②提案どおり実施されているか。                                | ①②ネーミングライツの実施。看板を漕艇センター内3ヶ所に設置。<br>救助艇(ゴムボート)の低料金による貸出し。<br>→ 8月 1件2名 1,500円(1日)・9月 1件2名 1,500円(1日)  | A         | ①ネーミングライツの実施、看板(施設内3か所)の設置。<br>②施設のイメージや親しみやすさを考慮したネーミング。<br>利用者数は対前年度同期比50%増加。                                       | A         |             |
|   | (7)府施策との整合            | ①府、公益事業協力等の取組み<br>②行政の福祉化の取組み<br><br>③府民・NPOとの協働の取組み<br>④環境問題への取組み | ①②マリンスポーツ財団として、障がい者就業、母子家庭の母就業、自立センターによる雇用実績4名 継続中。C-STEP加入済み。<br><br>③協働取組を行うNPOについて、施設利用が少ない冬期に調査し、新年度以降に活動を開始できるよう、準備を進めていく。<br>④利用者へゴミゼロ運動実施。海洋環境に関する保全活動の告知 提案。環境認証(ISO14001)取得。老朽化したFRP船の廃棄処理における再資源化。   | A         | ①府福祉施策等の優先的な協力。<br>②障がい者、母子家庭の母等の就業への取組みとして、4名をマリンスポーツ財団に継続雇用<br><br>③美化啓発活動を展開<br>④ゴミゼロ運動、海洋スクールを開催し、環境保全活動の学習機会を提供。 | A         |             |
| I 総括  |                       |  |  | A         |   | A         |             |
| IIさらなるサービス<br>の向上に関する事項<br>(※プロボ項目なし)                                       | (1)利用者満足度調査等          | ①利用者満足度調査等の実施状況<br>②調査結果のフィードバック(PDCA)                             | ①②意見箱の設置。大阪府への連絡を実施できるところから改善に努めている。   | A         | ①利用者意見箱の設置。<br>②救護室の設置等、実施できるところから順次改善に努めている。   | A         |             |
|   | (2)自主事業               | ①さらなるサービス向上の取組み<br>【指標】<br>・利用者数、収支状況                              | ①小型船舶免許更新講習会、各種マリンスポーツ体験乗船会等を実施したことで、今までの施設利用者以外の来場者を増やすことができた。  | A         | ①水難事故に備えた水上オートバイ、ゴムボート、ライフジャケット等の貸出等の実施。対前年度同期と比較して、利用者数50%増加。  | A         |             |
|   | (3)その他創意工夫            | ①その他創意工夫の取組み   | ①人力ボートの体験乗船会や、休息室のカーテン設置、会議室整備等施設の改善を行った。今年、指定管理1年目ということもあり、様子をみるところもあったが、来期以降さらなるサービス向上に努めたい。   | A         | ①新たなマリンスポーツ(人力ボート等)の紹介や休息室のカーテンの設置、救護室の設置等施設設備の改善を実施。   | A         |             |
| II 総括   |                       |  |  | A         |   | A         |             |
| III<br>行適<br>関能を正<br>す力図<br>る及る<br>管理<br>事項財<br>と業<br>政が務<br>基で<br>の盤<br>き遂 | (1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度 | ①事業収支計画、事業収支実績状況<br>【指標】<br>・収支計算書                                 | ① 収入 H23 計画 7,229,000円→H23 見込 7,692,126円(106%)<br>・支出 H23 計画 14,825,000円→H23 見込 17,452,414円(117%)  | A         | ①収入支出額とも概ね事業収支計画のとおり。事業収支計画と比較して、収入は6%増加、支出は17%増加。  | A         |             |
|   | (2)安定的な運営が可能となる人的能力   | ①職員体制・配置<br>②管理監督体制・責任体制<br>③指導育成、研修体制                             | 提案書どおり実施。<br>① 正職員1名、常勤嘱託員1名、非常勤職員1~2名、清掃・警備・設備管理は委託<br>② センター長・責任者体制を整備<br>③ 従業員の接遇、水上安全技能向上、人権啓発・個人情報・環境保全等のスタッフ研修を実施<br>11月12・13日 水上安全指導員(AED講習、水上救助方法等)講習会実施 8名<br>12月16日 第8回就労支援ネットワーク構築事業研修会に講師として参加 参加人数50名<br>12月26・27日 職員を対象に従業員接遇・人権啓発・個人情報の講習会を実施。参加人数35名 | A         | ①正職員1名、常勤嘱託員1名、非常勤職員1~2名、清掃・警備・設備管理は委託をしており、計画どおりの体制で運営している。<br>②センター長及びスタッフの責任体制を構築。<br>③接遇研修等スタッフのスキルアップに向けた研修を実施。  | A         |             |
|   | (3)安定的な運営が可能となる財政的基盤  | ①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤<br>②法人等事業者の財務状況                       | ①マリンスポーツの普及・振興事業、親水事業、安全啓発事業、職員数31名<br>②平成22年度の総資産は、4,436,017,540円、経常利益は、288,940,739円  | A         | ①運営基盤は安定。<br>②財務状況は安定した推移であり良好。   | A         |             |
| III 総括  |                       |  |  | A         |   | A         |             |